

平成28年度 妙高市外国語活動部 活動報告

部長 橋立 英基

1 研究主題 「学習到達目標を明確に設定した単元指導計画に基づく授業改善」

2 研究の概要

妙高市教育研究会外国語活動部会は、中学校の英語部会と共に活動を行っている。8月には、部員それぞれが「学習到達目標を明確に設定した単元指導計画に基づく授業改善」というテーマでレポートを持ち寄り研修を行った。少人数グループに分かれ、現在抱える授業実践の問題点や課題を出し合い、小中それぞれの立場から意見を出し合うことで、2学期以降の授業の進め方について検討した。

11月には、授業公開と協議会を行った。

3 研究の実際

(1) 公開授業

期 日 平成28年11月8日

会 場 妙高市立新井中学校

授業者 笠野 恭子 教諭

単元名 1年「Program7 Wonderful Ocean」

本時は、「クラスの仲間の日常生活について、尋ねたり答えたりする」ことを目的に行われた。始めは隣同士のペアでしっかりと練習し、次にグループで、定着するまで繰り返し練習を行う工夫が行われていた。当校の研究主題「高め合う生徒の育成」を受け、授業の終末に、クラスの友達の生活についてクイズを行う場面を設定したことから、生徒は自発的に役割分担を行い、班内で互いに協力しながら積極的に言語活動に取り組む姿が見られた。また、教師の明るい表情、テンポのよい授業展開により、級全体として積極的に英語を使い、楽しくコミュニケーションをとろうとする姿となっていた。



(2) 意見・感想等

- ・フォニックスを1学期から継続して取り組むことで成果につながっている。小学校でも取り組み始めているので情報交換を行っていききたい。
- ・前単元の復習から本単元のターゲットフレーズにつなげていてよかった。
- ・ピクチャーカードや時間帯による色分けなど、生徒の理解につなげるための工夫が随所に見られた。

(3) 指導 指導者 上越教育事務所学校支援第2課 指導主事 重野 準司様

- ・ペア活動やグループ活動がしっかりと機能していたことから、学習集団として素晴らしい。授業に無関心な子がいない。
- ・課題は、目的のはっきりした課題を設定する必要がある。
- ・「Can-Doリスト」について。「Can-Doリスト」は学習到達目標を定めたリスト。点数ではなく、場面ごとにより具体的に何ができればいいのかを示す必要がある。
- ・外国語活動についての小中連携について。他県他市では、小中高で指導計画を作成する例もある。児童生徒の交流授業を行ったり、ALTの活用方法やクラスルームイングリッシュについて、研修の機会の充実を図ったりする必要がある。

4 成果と課題

意図的に関わり合う場面を設定し、一斉練習からペア練習、グループワークと授業形態を工夫することで、生徒一人一人が自信をもってコミュニケーションをとろうとする姿が随所に見られた。小学校での外国語活動により、英語を聞いたり話したりすることに慣れている生徒が多くなっているという中学校の実態からも、今後さらなる小中連携した研修を深める必要がある。